

はびきの市民大学情報誌
はびきの市民大学だより

オータムコンサート&特別講義 開催

今年度もオータムコンサート&特別講義を開催します。市内・市外問わず、どなたでも入場いただけます。入場整理券は、はびきの市民大学受付カウンター・はびきのコロセラム・市民体育館・市民会館にて配布中です。インターネットからも、お申し込みいただけます。詳しくは、はびきの市民大学ホームページまで。(裏面のQRコードからご覧ください) お一人様4枚まで。

■日 時 2023年10月14日(土) 開場:12時30分 ■場 所 LIC はびきのホールM



《曲目》

- ・P.I.チャイコフスキー / ヴァイオリン協奏曲 第2楽章
 - ・J.ブラームス / ハンガリー舞曲 第5番 嬰へ短調
 - ・W.A.モーツァルト / ディヴェルティメント K.136
 - ・J.シュトラウス2世 /
- 喜歌劇『こうもり』より「シャンパンの歌」 ほか



【第2部】特別講義 「秀頼時代の豊臣家～なぜ大坂の陣は起こったのか」

開演:14時45分 終演:16時15分

一般に関ヶ原合戦後の豊臣家は摂津・河内・和泉の三ヶ国を領する一大名に転落したといわれます。けれど、それは果たして事実なのでしょうか。一次史料から、秀頼時代の豊臣家の実像を明らかにするとともに、大坂の陣勃発の理由についても考えます。

〈講師〉 北川央(きたがわ ひろし) 九度山・真田ミュージアム名誉館長



1961年大阪府生まれ。神戸大学大学院文学研究科修了。
 1987年に大阪城天守閣学芸員となり、主任学芸員・研究主幹などを経て、2014年から大阪城天守閣館長を務め、昨年3月末で退任。現在は九度山・真田ミュージアム名誉館長。
 この間、東京国立文化財研究所・国際日本文化研究センター・国立歴史民俗博物館・国立民族学博物館・国立劇場・神戸大学・関西大学など、多くの大学・博物館・研究機関で委員・研究員・講師を歴任。織豊期政治史ならびに近世庶民信仰史、大阪地域史専攻。
 『大坂城 秀吉から現代まで 50の秘話』(新潮社)、『大坂城をめぐる人々—その事跡と生涯』(創元社) 『大坂城と大坂の陣—その史実・伝承』(新風書房)、『大坂城と大坂—摂河泉地域の歴史』(新風書房)、『なにわの事もゆめの又ゆめ—大坂城・豊臣秀吉・大坂の陣・真田幸村—』(関西大学出版部)ほか、著書多数。
 『そのとき歴史が動いた』(NHK)、『歴史街道～ロマンへの扉～』(朝日放送)などの歴史番組、『プリンセス トヨトミ』『真田十勇士』などの映画、舞台作品も多数監修。

学長コラム【第49回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)



笠谷和比古氏が講義した(6～8月)「道明寺・誉田合戦」は羽曳野市を舞台にした出来事であった。10月14日(土)に開かれる公開講座・特別講義では、長く大阪城天守閣館長を務め、現在は九度山・真田ミュージアム名誉館長の北川央氏が、秀頼時代の豊臣家の実像を説き明かし、大坂の陣勃発の理由を解説する。

歴史は勝者が塗り替えていく。明治35年に『史疑-徳川家康事蹟』(村岡素一郎)という本が、発売と同時に売り切れ、絶版となった。家康の出自および幼時について疑問を呈した、家康の奇怪な幼少時代の伝承にふれる本であったから、徳川家はじめゆかりの人々がいち早く買い占めて重版させなかったのである。

歴史はミステリーに満ちている。大阪のことで大阪人が知らないことは山ほどある。一般に、関ヶ原合戦により天下は徳川のものになり豊臣家は一大名に転落したといわれているが、本当にそうなのか。歴史の真実に迫る北川氏の講義に耳を傾けていただきたい。氏の話の聞いていると、目から鱗が落ちることが少なからずある。

インターンシップへの意気込み

阪南大学よりインターンシップに参加しました遠藤と申します。今回の記事の作成を担当させていただきました。祖母が家の近くにある携帯教室に通っていた過去があり、はびきの市民大学の「自己の生きがいや自己実現を探究する生涯学習の場」という言葉に興味を持ちました。そのことからインターンシップに申し込みをさせていただきました。私が担当補助として参加させていただくことになった講座は人気が高く、受講者数が多いとのことでした。そのため、教室内を机の配置や数を増やしたり工夫しないといけないとのことだったので、私も臨機応変に動き、受講者の皆様が講座を受けやすい良い環境を作れたらと、考えています。他には、講座の企画を自分でやってみるということで、興味のあるお仕事を近くで学ばせていただけるということになり、とても嬉しく、学びが沢山あるだろうと、感じています。

インターンシップの担当者から初日の3週間ほど前にお電話があり日程を変更して、イベントに参加させていただくことになりました。イベントの運営側に参加したことがないため、すでに緊張しています。ですが、今まで私が参加したイベントが良い思い出として残っているため、私自身もお客様に良い思い出として、心に残る時間を過ごしていただけるように私にできること一つ一つをこなしていきたい所存であります。

今回の5日間は、とても短いだろうとすでに感じています。ですが、確実に家でダラダラして過ごす5日間と社会人としての基礎を今、社会で一生懸命働いている方のそばで学ばせていただく5日間のほうが短いなりに学ぶことはたくさんあるだろうと、確信しています。だからこそ、インターンシップ生としてお仕事をさせていただき、受け入れていただいたことへのありがたみを忘れずに教えていただいたことは一つも取り落とさないように意識して自分から積極的に学んでいき、そして、学んだことを、これから社会人になった時の自分に活かしていけるように、真摯に向きあっていきたいです。

はびきの市民大学 〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号 LIC はびきの内
 【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に管理いたします。
 ※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
 ※表記されている内容については予告な変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

